

第4学年国語科学習指導案

日時 平成18年10月13日(金)5校時
児童 男子7名 女子7名 計14名
指導者 佐藤裕子

1 単元名 二 材料の選び方を考えよう

2 教材名 アップとルーズで伝える(中谷 日出)
四年三組から発信します

3 単元について

(1)指導事項について

本単元の主たる指導事項は、「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと」(読イ)「書く必要のある事柄を収集したり選択したりすること」(書イ)「自分の考えが明確になるように、段落相互の関係を考えること」(書ウ)である。これらの力を育てるためには、「部分をまとめ、つなげ、比べることを通して、全体構造をよく理解すること」「適切に材料の収集を行うこと」「事柄ごとのまとまりを意識して、区切りを考えること」などの力を育てる必要がある。本単元では、「対比・まとめなど、段落相互の関係に気をつけて読み、伝えたいことと伝える方法について興味をもつ」「取材したことを相手と目的に応じて選材し伝える」ことを目標とする。

(2)教材について

本単元は、情報活用単元の系列に属している。説明文「アップとルーズで伝える」で、テレビや新聞などの映像が、送り手の目的などによって取捨選択され、組み合わせられたものであることを「アップ」と「ルーズ」という映像技法を通して読む。そして「四年三組から発信します」で自らが情報の発信者となり、情報の収集、選択、発信を行うものである。

本教材「アップとルーズで伝える」は、わたしたちが最もよく目にしていくメディアであるテレビの映像技法を中心に述べたものである。児童にも身近に感じられる内容であり、テレビを見て実際に確かめることも容易である。写真と文章を対応させて読むこともでき、また、アップとルーズについて対比的に分かりやすく述べられているので、段落関係をつかみ、文章の構成もとらえやすいと考える。そして、アップとルーズの考え方を知り、「四年三組から発信します」では、自分たちで情報の収集から発信までの活動を行う。普段見慣れているものや身近なものについて、くわしく知りたいことや疑問に思うことを調べ、集めた様々な情報の中から、相手や目的に合うものを選び伝える。

以上のことから、本教材は、段落相互の関係をとらえる読みの学習を通して、送り手の目的などによって情報の収集、取捨選択がされていることを知り、自らが発信者となったときも同様であることを体験できる教材であると考えられる。

(3)児童について

児童は、3年下「すがたをかえる大豆 / 食べ物はかせになろう」の学習で、教材文の読みで大豆や大豆の加工食品に興味を持ったことから、大豆以外の身近な食べ物について本から調べ、文章にまとめる活動を経験した。「すがた」「くふう」「手のくわえ方」という読みの視点が書くときにも生かされることや、つなぎの言葉を使用して段落ごとにまとめて書くことを学習した。4年上「『かむ』ことの力」では、「初め・中・終わり」という説明文の典型的な構成と、「中」が大きく二つに分けられる内容であることや、それら段落相互の関係や文章全体の構成を学習した。4年上「新聞記者になろう」では、どんな内容を、誰に、どのように表現して伝えるか、まとめ方を工夫しながらグループで新聞作りを行った。読んで欲しい相手を意識して、分かりやすく伝えることの大切さと楽しさが分かったようである。

児童は、3年生からの「段落」の学習で、段落ごとの内容の大体が読み取れるようになってきた。段落ごとに小見出しをつけられる児童もいるが、学級全体の力としては十分でない。また、段落相互の関係を自分で読み取り、理解することも十分でない。書くことにおいては、「初め・中・終わり」を意識して書けるようになってきているが、個人差が

あり、伝えたいことをまとめるのに時間がかかり、事柄の大切なところを選んで書くことを難しいと感じている児童もいる。興味がある事柄に対して進んで調べようとする児童が多く、グループ学習に意欲的な児童も多いので、学びを共有し合い、互いのよさを認め合いながら書く意欲を高めていきたい。

(4) 指導にあたって

本単元の指導にあたっては、以下に挙げることについて留意しながら進めていきたい。

普段、見慣れているものや身近にあるものから帯島の自慢と思えるものについて「キラリ 帯島新聞」を作るという見通しを持たせ、学習への意欲を高める。

「アップとルーズで伝える」では、全部で4枚の写真を取り上げている。文章と合わせて見ると、「アップ」と「ルーズ」を捉えやすい構成になっている。写真にキャプション(写真を説明する短い文)をつけながら、段落ごとの内容を理解し、小見出しをつけていくことにつなげていけるようにする。

「しかし」「でも」の接続語に着目して文章構成をつかんだり、指示語に気をつけて段落相互の関係をとらえたりできるようにする。

アップとルーズの長所、短所やアップとルーズの使い分けをよく理解させ、自分が発信者となったときに、アップか、ルーズかの写真を選んで記事を書けるようにする。

教科書作例をモデル文として写真の選び方やメモの活用の仕方を知り、調べた中から一番知らせたいことを選び、相手に分かりやすく書くことを意識させる。

グループで書く活動を行い、協力して取材や作業を行うとともに、互いの表現の良さに目を向け、よりよい表現になることを目指させる。

4 単元の目標

【国語への関心・意欲・態度】

- ・段落相互の関係を考えながら文章を正確に読み取ろうとしている。
- ・知らせたいことを決め、進んで取材し、相手と目的に応じて分かりやすく伝えようとしている。

【書く能力】

書こうとする題材に必要な事柄を集め、相手と目的に応じて分かりやすく書いて伝える。(書イ、ア)

【読む能力】

- ・中心となる語や文をとらえ、段落相互の関係に気をつけて読むことができる。(読イ)
- ・目的に応じて、調べるためにさまざまな本を読むことができる。(読ア)

【言語についての知識・理解・技能】

文章全体の中での、それぞれの段落の役割を理解する。(言オ(イ))

5 指導計画と評価規準(17時間)

| 次 | 時 | 学 習 内 容 | 評 価 規 準 |
|-------------|---|---|--|
| 第 一 次 | 1 | 単元名とリード文を読み学習の内容を知る。 全文を通読し、感想を交流して学習の全体計画を立てる。 | 【関】「アップ」と「ルーズ」に関心を持ち、進んで教材文を読もうとしている。 |
| | 2 | 漢字や語句の学習をする。 | 【言】新出漢字、難語句を理解している。 |
| 第 二 次 | 3 | 写真と文章の関係に注意して第一、第二段落を読み、第三段落との関係をとらえる。 | 【読】写真と文章の関係が分かり、「アップ」と「ルーズ」の意味を理解している。 |
| | 4 | 写真と文章の関係に注意して第四、第五段落を読み、アップとルーズの長所と短所を読み取り、第六段落との関係をとらえる。 | 【読】対比させて読むことを知り、アップとルーズの長所、短所を読み取るとともに、段落の関係を理解している。 |
| | 5 | 第七、第八段落を読み、筆者の伝えたいことをとらえる。 | 【読】アップとルーズが目的に応じて使い分けられていることを読み取っている。 |

| | | | |
|-------------|----|---|--|
| | 6 | 各段落に小見出しをつけ、大きなまとまりに分け、段落構成を考え、図にまとめる。 | 【読】段落相互の関係を理解し、文章全体の構成をつかんでいる。 |
| 第 三 次 | 7 | 「四年三組から発信します」、資料「選んで伝える」を読み、「キラリ 帯島新聞」を作る活動の見通しを持つ。 | 【関】教材文から読み取ったことをもとに、知らせたいことを発信する活動に意欲をもっている。 |
| | 8 | 教科書作例とメモを読み、メモの生かし方や書き方の工夫に気づく。 | 【書】一番知らせたいことを選び、読み手によく分かるような書き方の工夫が分かっている。 |
| | 9 | 新聞の題材(帯島の自慢)について話し合い、新聞のイメージを持つ。 | 【関】詳しく知りたいことや疑問に思うことから、題材となりうるものを探そうとしている。 |
| | 10 | グループごとに話し合い、題材を決め、取材の準備をする。 | 【関】知らせたいことを発信する活動に意欲をもっている。 |
| | 11 | グループで話し合ったことをもとに、取材したり資料を集めたりする。 | 【書】知らせたいことに合わせて、取材や資料集めができています。 |
| | 12 | 取材したものから、必要な材料を選ぶ。 | 【書】相手や意図に応じて、写真や事柄を選んでいる。 |
| | 13 | 選んだ材料をもとに、記事の下書きをする。(本時) | 【書】知らせたいことを考えながら、記事の下書きをしている。 |
| | 14 | 下書きを見直し、記事の見出しと割り付けを考える。 | 【書】よりよいものになるように、記事の見出しや新聞の割り付けを考えている。 |
| | 15 | 清書し、グループごとに新聞を仕上げる。 | 【書】割り付けに合わせ、読みやすい文字で仕上げています。 |
| | 16 | 完成したグループごとの新聞を読み合い、感想などを交流して、学習を振り返る。 | 【関】分かりやすく、相手に応じた表現になっているかを視点として、活動を振り返っている。 |

6 本時の指導

(1) 指導の構想

本時の学習では、自分たちの題材に合わせて、前時までに取り材してきたことをもとに、「キラリ 帯島新聞」の元になる記事を書く活動を行う。調べた事柄の中から、必要な事柄を選んで書くことや、読み手を意識して分かりやすく書くことを考えさせ、大事にさせたい。また、自分の表現を振り返り、よりよい表現になるようにするために、グループ学習の場面を設け、下書きの進み具合を確認したり表現の良さに気づいたりできるようにする。

(2) 目標

前時までの取材メモを生かし、知らせたいことを考えながら、記事の下書きをすることができる。

(3) 展開

| 段階 | 学 習 活 動 | 教師の支援と働きかけ | 評価(方法) |
|-----------------------|--|---|--------|
| つ か む 3 分 | 1 前時の学習を想起する。 | <ul style="list-style-type: none"> 取材して集めた材料から、必要な写真や取材メモを選んだことを想起させる。 それぞれのグループの題材を確認し、何について記事を書くのかを想起させる。 | |
| | 2 本時の学習課題を確認する。 知らせたいことを考えながら、記事の下書きをしよう。 | | |
| | 3 記事を書くときに気をつけることを確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> 知らせたいことの内容を考慮して書くことと読み手に分かりやすく書くこと | |

| | | | |
|---------------------|--|--|--|
| <p>ふかめる 35分</p> | <p>4 グループごとに、記事に書くことを確認する。</p> <p>5 取材メモをもとにして、新聞記事の下書きをする。 【一人学び】</p> <p>【グループ学習】</p> <p>6 グループ学習で気づいたことを発表する。 【学び合い】</p> | <p>が大切だということを想起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一番知らせたいことは何か、落とさずに伝えることは何かをグループごとに確認する。 ・ 前時までに取材したメモと写真を生かして書けるようにさせる。 ・ 机間指導し、作業が進まない児童には、個別に支援する。 ・ 作業が進んだら読み返させ、写真とも照らして付け足しや見直しをさせる。 ・ 書いたものをグループ内で交換し、取材メモと合わせて読み合わせる。 ・ 表現のよさを認め合い、伝えたいことがよく表れているか、相手を考えた書き方になっているかの指摘をさせ、よりよい文章にする。 ・ グループごとの学びを全体にも広げ、他のグループの文章にも生かせるようにする。 | <div data-bbox="1139 174 1433 344" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>記事を書くときに気をつけることが分かっているか。(挙手・発言)</p> </div> <div data-bbox="1139 629 1433 831" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>読み手を意識して、知らせたいことを落とさずに文章を書いているか。(ワークシート)</p> </div> <div data-bbox="1139 1077 1433 1247" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>友達の書き方の良さに気づくことができたか。(挙手・発言)</p> </div> |
| <p>まとめ 7分</p> | <p>7 本時の学習を振り返る。</p> <p>8 次時の学習内容を確認する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題に沿って本時の学習を振り返り、自己評価させる。 ・ 本時に書いた記事の下書きと写真を合わせて、新聞の割り付けを考える活動を確認する。 | <div data-bbox="1139 1279 1433 1518" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>知らせたいことを意識して、取材メモをいかした文章を書くことができたか。(記述・発言)</p> </div> |

(4) 具体の評価規準

| 評価規準 | 十分満足できる児童の姿の例 | 努力を要する児童への手立て |
|---|--|--|
| <p>取材メモを生かし、知らせたいことが表れ読み手を意識した文章を書いている。</p> | <p>取材メモを生かし、知らせたいことが表れ読み手を意識した文章を書くとともに、グループ学習で、自分や友達の文章がよりよいものになるように見直している。</p> | <p>取材メモや写真をもとに、知らせたいことを想起させ、取材メモのどの事柄から書くか、順序を考えさせる。</p> |